

結果の概要

1 労働争議の種類別の状況

平成26年の労働争議は、「総争議」の件数は495件、総参加人員は121,621人となっており、前年に比べ、件数は12件（2.4%）減、総参加人員は6,766人（5.3%）減となり、「総争議」の件数は、比較可能な昭和32年以降、最も少なかった。

このうち、「争議行為を伴う争議」の件数は80件、行為参加人員は27,919人となっており、前年に比べ、件数は9件（12.7%）増、行為参加人員は15,009人（116.3%）増となった。（第1表、第1図、11頁附表）

第1表 労働争議の種類別件数及び参加人員の推移

年次	総争議		争議行為を伴う争議			争議行為を伴わない争議	
	件数	総参加人員	件数	総参加人員	行為参加人員	件数	総参加人員
平成21年	780	115,371	92	76,349	20,543	688	39,022
22	682	110,664	85	56,132	21,262	597	54,532
23	612	58,495	57	33,472	8,604	555	25,023
24	596	125,992	79	50,190	12,361	517	75,802
25	507	128,387	71	52,350	12,910	436	76,037
26	495	121,621	80	74,438	27,919	415	47,183
平成26年の 対前年増減数 (件)	△ 12	△ 6,766	9	22,088	15,009	△ 21	△ 28,854
平成26年の 対前年増減率 (%)	△ 2.4	△ 5.3	12.7	42.2	116.3	△ 4.8	△ 37.9

第1図 労働争議の種類別件数の推移

